

高等学校 令和5年度 教科

国語

科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象年次：1, 2, 3, 4, 年次 (再履修除く)

教科担当者：① 宗 ② 金子 ③ 梅野 ④ 宗 ⑤ 金子 ⑥ 梅野
 ⑦ 金子 ⑧ 戸塚 ⑨ 金子 ⑩ 戸塚 ⑪ 井口 ⑫ 梅野
 ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱

使用教科書：(『新編 言語文化』(数研出版))

教科 国語 の目標：国語で的確に表現し効果的に表現する資質・能力を育成するために、伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばすことと同時に、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

【知識及び技能】 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】 社会生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を豊かにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言語感覚を豊かにし、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	<p>・科目及び図書館オリエンテーション 「古文に親しむ」(古典の基礎及び「いろは歌」や有名古典の暗唱) 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いなど、古文の学習に必要な基礎事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典文学作品の冒頭を暗唱することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとする。</p> <p>・説話を読み味わう(「児のそら寝」) 歴史的仮名づかいや古典常識、古文単語、文法事項など、古文の学習に必要な基礎事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 説話の面白さを味わったり、児の気持ちを理解したり想像し、他者へ伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 独特のリズムに触れ、古文に親しもうとする。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 本文を現代仮名遣いで音読する。 重要古語を中心に、古文単語の意味や文法事項を押さえ、現代語訳する。 動作主をおさえながら、話の展開を理解する。 児の内心語を指摘し、心情を理解する。 「説話集を読む楽しみ」を読み、古典を学ぶ意義を考える。 ・教材 等 教科書、ワーク、便覧、プリント</p>	<p>【知識・技能】 歴史的仮名遣いなど、古文の学習に必要な基礎事項を理解している。 【思考・判断・表現】 古典文学作品の冒頭を暗唱することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。</p>	○	○	○	10
2 学期	<p>・漢文から教訓を得る(漢文訓読の基礎及び「格言」 「助長」) 【知識及び技能】 漢文を読むために必要な知識や規律を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「格言」「助長」を読み、言葉の意味や教訓についてなどを他者に伝えることができる。 漢文を学ぶ意義について考え、書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文独自のリズムに慣れ、意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>・小説を読み味わう(「羅生門」) 【知識及び技能】 漢字・語句の読み・意味や作者芥川龍之介について理解する。 小説読解の基礎を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 小説の設定と出来事の推移、それに伴う主人公を中心とした登場人物の心理の変化を、表現に即して読みとる。 主題を的確に読み取り、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 漢文を学ぶ意義を考える。 白文、返り点、送り仮名、句読点、書き下し文を理解する。 「格言」の漢文、故事成語「助長」を現代語訳する。 ・教材 等 教科書、ワーク、便覧、プリント</p> <p>・指導事項 芥川龍之介について確認する。 本文中に出てくる漢字や言葉の意味を理解する。 本文を段落に分け、場面設定と主人公の特徴を確認する。 下人の行動と心情の変化を読み取る。 老婆の論理と、下人の考えを整理する。 下人のその後を考える。 ・教材 等 教科書、ワーク、便覧、プリント</p>	<p>【知識・技能】 漢文を読むために必要な知識や規律を理解している。 【思考・判断・表現】 「格言」「助長」を読み、言葉の意味や教区人についてなどを他者へ伝えられる。 漢文を学ぶ意義について考え、書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 漢文独自のリズムに慣れ、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
3 学期	<p>・歌物語を読み味わう(「古典常識」、伊勢物語「芥川」) 【知識及び技能】 基本的な古典常識を覚え、作品等の理解を深める。 【思考力・表現力・判断力等】 物語に描かれる登場人物の心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 古典の物語を通して、積極的に現代に生きる自分の考えを深める。</p> <p>・詩歌を味わう 【知識及び技能】 短歌の基礎知識(形式・句切れ・表現技法など)を理解できる。 【思考力・表現力・判断力等】 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の吟味した言葉を駆使して、短歌を創作する。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 十二支に関連した古典常識や月の異名など、基本的な古典常識を理解する。 古語や省略された主語に注意しながら現代語訳する。 場面に即した登場人物の心情を読み取らせる。 和歌に込められた「思い」を読み取らせる。 ・教材 等 教科書、ワーク、便覧、プリント</p> <p>・指導事項 短歌の基礎知識(形式・句切れ・表現技法など)を理解する。 自分の思いを、様々な言葉を使って多面的に表現する。 短歌創作のルールに沿って、短歌を創作させる。 ・教材 等 教科書、ワーク、便覧、プリント</p>	<p>【知識及び技能】 基本的な古典常識を覚え、作品等の理解を深めている。 【思考力・表現力・判断力等】 物語に描かれる登場人物の心情を場面に即して読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 古典の物語を通して、積極的に現代に生きる自分の考えを深めている。</p> <p>【知識及び技能】 短歌の基礎知識(形式・句切れ・表現技法など)を理解できている。 【思考力・表現力・判断力等】 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の吟味した言葉を駆使して、短歌を創作している。</p>	○	○	○	12
			○	○	○	6	
						2	
						合計	
						70	